

転作作物としてのハトムギ生産・販売体制の確立プラン

事業実施主体名	農事組合法人やまのうえ	住 所	八頭町
プラン認定日	平成20年4月25日	プラン期間	平成20年～平成24年

1 プラン内容

(1) 概要

法人経営を安定化するためには、転作作物であるハトムギの収益を確保することが必要であり、栽培面積の増加に伴って、機械化による作業の効率化が急務であった。そのために、普及所及び県農業試験場からの技術支援による生産量の拡大、必要な機械及び施設の整備に取り組んだ。

また、契約販売先との連携による販売力の強化を図り、生産販売体制を確立した。

(2) 取り組みポイント

- ハトムギの栽培技術確立による安定生産
- 機械化作業効率向上による栽培面積拡大
- 契約販売先との連携による販売価格の安定

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H20	中耕機（ロータリーカルチ・培土板）、散布機 噴霧機、灌水ポンプ	765 232	332	167
H21	キャリー動噴（1台） 播種機（2台）	464 340	268	134
H22	ハトムギ用コンバイン（1台）	5,905	1,968	984
合 計		7,706	2,568	1,285

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力（雇用）	・平成 18 年 5 月に法人化、組合員数 31 名で、21 名の組合員が作業実施。	・組合員数 33 名で、21 名の組合員が作業実施。
経営内容・規模	・経営面積 1908a（うち水稲 1236a） ・ハトムギ生産数量 2,446kg	・経営面積 2302a（うち水稲 1252a） ・ハトムギ生産数量 6,000kg（見込み）

(2) 成果

表1 プラン目標に対する実績（ハトムギ）

具体的な取組内容（項目）	目 標 及 び 実 績					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
栽培面積(a)	360	483.6	723	815	840	900 915
生産数量(kg)	2,446	5,057	11,594	2,820	9,786	20,700 6,000
単価(円)	300	314	320	318	327	320 330

注) 表中の上段に目標値、下段に実績値を記載。H22、H24 は、干ばつにより減収となった。

○経営改善の実績

- ・機械装備が整ったため、栽培規模の拡大が可能となり、作業面での効率化が図られた。
- ・JA鳥取いなばの広域施設利用により、品質規格の統一化と品質向上につながり、販売価格もほぼ目標どおり確保することができた。

○産地の活性化状況

- ・栽培面積は 840a（前年 840a）とほぼ計画どおり規模拡大が進み、鳥取県のハトムギ栽培マニュアルに基づき栽培管理を実施している。H20 年度以降の 10a 当たり生産数量は、干ばつ年を除き、100kg を上回り（H19：68kg）、H19 年当時に比べて改善されつつある。H24 年度には、葉枯病対策として、栽培品種を「あきしずく」から抵抗性品種の「とりいずみ」（鳥取県にちなんで命名）にすべて切り換え、生産安定に取り組んでいる。

○雇用の増加状況

- ・法人の組合員による生産活動を行っている。

○更なる経営発展方向

- ・ハトムギ栽培技術の改善による収益向上への取組みを計画している。
 - ① 移植栽培の実施
 - ② 連作障害への取組み



写真1 ハトムギ収穫作業

[八頭総合事務所農林局]